

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

No.5 平成30年10月29日

発行：秋田県立聴覚支援学校

(きこえとことば支援センター)

補聴器・人工内耳の自己管理(冬期間)

補聴器、人工内耳の管理についての学習は行っているでしょうか。学年や児童生徒の実態によって取り上げる内容は様々だと思いますが、季節に合わせて必要な指導内容を**自立活動の時間**などを使って取り上げてみてはいかがですか。

〈内容例〉

- ・冬に補聴器（人工内耳）を使うときに気をつけること
- ・チューブに水滴があった時の対処法
- ・冬に電池の減りが早くなるのはどうして？
- ・乾燥ケースの使い方
- ・「結露」って何？「結露」はどんなときにできるの？
- ・静電気が起きると補聴器や人工内耳はどうなるの？
など



デジタル補聴援助システム『ロジャー』

補聴器や人工内耳を装着していても話者との距離、騒音、反響音などの条件下では、話者の声が聞こえにくくなる場合があります。このような時の聞こえにくさを改善する方法の一つとしてロジャーを学校や家庭で使用する人が増えてきています。その効果を引き出すためには、使用する人（職員、保護者、本人）が機器の特徴や使用する上での留意点を正しく知ることが必要です。

<ロジャーの特徴> ※ロジャータッチスクリーンマイクの場合

- ・話者との距離や周囲の騒音にあまり影響を受けず話者の声を届けます。（使用可能距離約 20m）
- ・学習の場面に応じた使い方があります。
 - ◆**小グループモード**では、2～5名程度の話合いの場で、自動的に話者の声を察知します。
 - ◆**インタビューモード**では、発表している友だちの方へマイクを向けることで、マイクを装着している人から最大4mまで離れた友だちの声を受信します。



<ロジャーを使用するにあたって>

- ・**ロジャーを使うと全てききとれるということではありません。**
- ・送信機（マイク）を付ける人が、ロジャーの特徴を理解し、その上で聴覚障害児への配慮（普段、行っている聞こえにくい人へのコミュニケーションのコツ）を行うことでその効果が得られます。
- ・補聴器やロジャーを使用しても感音性難聴のきこえ（ゆがみ、ひずみ）は改善されません。
※県内小・中学校在籍のロジャー使用者数18人（10月末現在で聴覚支援学校で把握している人数）

冬の補聴器・人工内耳の取り扱い

<結露に注意！>

補聴器は、低温には比較的強いのですが暖かいところに戻ると気温差によって結露が生じることがあります。チューブ等に少しでも水滴があると音が出なくなります。
→イヤモールドやフック、チューブ等の水滴は、こよりなどでとることができます。
→寒い屋外から暖かい部屋に戻ったときなど乾燥ケースの中でゆっくり室温に戻します。

<熱に注意！>

補聴器は、熱に弱い機器です。暖房の側には置かないように注意しましょう。

<電池の減りに注意！>

冬、乾燥しているところでは空気電池の減りが早くなります。（乾燥ケースに入れるときは電池を外します。）

<静電気に注意！>

静電気によって、まれに人工内耳のマップが壊れることがあります。

進路学習の紹介（聴覚支援学校 高等部）

「夏季休業中の見学・実習について」 平成30年8月31日発行『しんろだより～道～』No.4より
進路指導主事 小林 宇文

<見学・実習の目的>

生徒の目的は、働く楽しさややりがいを感じる段階から、様々な職種の仕事内容を知ること、自分の職業適性を知ることなど、個に応じて様々です。事業所の選択によって、同じ生徒で同じ時期でも目的が異なる場合があります。同時に、学校としては、生徒により体験をしてもらえる環境の事業所ばかりではなく、聴覚障がい者に初めて接する事業所にも生徒を送り出したいと考えています。初めて受け入れる事業所にとっても、聴覚障がい者を理解するよい機会ととらえ積極的に受け入れてくださっています。もちろん、初めて受け入れをした事業所にとっては、どのように伝えたらよいか試行錯誤する場合があります。それは、逆に生徒にとっても、「守られた環境ではない」場所での体験となります。

会社見学や職場実習は、「聴覚障がい」を知ってもらい、聴覚障がい者への合理的配慮について事業所に考えていただく機会であると同時に、生徒にとっても自らの理解者を自ら増やしていくことの実体験の機会となっています。

<会社見学先9社> ネクスコトール東日本、トヨタ自動車（愛知県）、合同会社説明会（仙台市）、松居組（仙台市）、秋田ヤクルト販売、秋田新電元、東北フジクラ、金鳥園ペットパーティ、TDK秋田

<職場実習先6社> 萩原製作所、秋田新電元、マックスバリュー男鹿店、金鳥園ペットパーティ、TDK秋田、東北フジクラ

中学生の交流会 9月18日（火）聴覚支援学校で中学生を対象にした交流会を行いました。本校生徒、保護者を合わせて15名の参加がありました。卓球ラリーや自己紹介で和んだ後、男女のグループに分かれてフリートークをしました。1人ずつサイコロを振って出たテーマにそって、自分のことを紹介したり考えを話したりして交流しました。別室では保護者情報交換会を行いました。受験のことや宿題のこと、校内テストのことなど他校の情報を知る時間となったようでした。



おすまよ 難聴理解学習 / 職員研修

今年度もこれまでたくさんの学校から依頼を受けて、難聴理解学習や職員研修で各校を訪問させていただきました。ありがとうございました。

◎難聴理解学習・職員研修 実施数
(期間：平成30年4月～10月)



軽度・中等度難聴の場合、周りの人と同じく行動できているから聞こえている、本人も困ったことはないと言っているから大丈夫と思われがちです。そのため聞こえにくい環境下であっても適切な配慮がされないことがあります。

職員が難聴について理解して関わることが、本人の自己理解、周りの児童生徒の難聴理解につながる第一歩です。

	難聴理解学習	職員研修
保育園		1園
小学校	12校	4校
中学校	2校	5校
高校	1校	1校
大学	2校	

難聴に関すること、補聴器に関すること、毎日の授業についてお気軽にご相談ください。

きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）

〒010-1409 秋田市南ヶ丘1丁目1番1号 ※6月から住居表示変更となりました。

【直通携帯電話】090-8784-6302【携帯メールアドレス】chou-sien0291@docomo.ne.jp

【聴覚支援学校】TEL：018-889-8572 FAX：018-889-8575

E-mail：chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp